

■現在の利用状況

- 自身を高める多様な活動が展開されている。
- 公民館で学んだことや身に着けたスキルを、地域へ還元している。
- 単なる活動の場ではなく、他団体を含む利用者同士の交流や職員との交流を育くむ場となっている。
- 職員への日頃の感謝等を込めて、公民館まつりや大掃除（100人規模）を実施している。
- 使いにくい予約枠の設定になっている（1コマのみでは短すぎて足りないが、2コマでは長すぎる）。

■現状を踏まえた今後の利用等に関するご意見

- 「公民館」という名称はこだわりはないが、現在の中央公民館の「心」や「機能」は次世代に伝えていきたい。
 - ・中央公民館「らしさ」とは…人との交流が生まれるあたたかい場（利用者同士の横のつながりがある、職員との良い関係を築ける）
- 「開かれた施設」としてほしい。
- 市の施設として、市職員による運営としてほしい。
- 1つの室であっても、社会教育活動である公民館・公民館的利用と一般利用で運用を分けられると良い。（公民館・公民館的利用の場合は、施設、駐車場無料）
⇔完全無料とするのは非現実的かもしれない。有料とする場合には、納得のできる説明が必要。
- 実生活に役立つような独自の講座を継続してほしい。
- 予約枠を時間単位とするなど、柔軟な設定としてほしい。

■集約化・複合化に関するご意見

- 全般
 - 複合化については賛成であるが、市民としてはソフトの視点から意見していきたい。ハードについては行政に考えてもらえれば良い。
 - 日野市のシンボルとなるような施設にしてほしい。
- 運用について
 - 複合化の対象となる施設の窓口を共通とする、1つのシステムから予約できるようにするなど、利用者に優しく一貫性のある運用としてほしい。
- 小学校との共用化について
 - 学校教育との連携については、魅力的と感じる。
 - 特に体育館については、災害時の利用を見据えて整備する必要がある。

■その他

- 全市的に、公民館・公民館的な利用ができる施設が増えれば、現状以上に施設の稼働率を上げることができるのではないかと。

■現在の利用状況

- 自主的な掃除を行っている。
- 職員と日頃から話せる関係性が特徴である。
- ガス窯や材料置き場など、陶芸の環境は今後も必要不可欠である。
- 居場所があり、日常の会話も楽しんでいる。

■現状を踏まえた今後の利用等に関するご意見

- 若い人たちが興味をもってくれるような場所にするための魅力が必要。
- 若者とつながるきっかけとなる仕組みや空間の設えが必要。
- ピアノを誰でも使えるようにして欲しい。
⇒ピアノをきっかけに交流が生まれるのではないかな。
- 公民館で休む場がないので休憩スペースがほしい。
⇒リラックスできる空間での交流があってもいい。
- 窯焼き（陶芸のとき）を待てるような部屋・スペースがほしい。
- 道具の貸出など、管理が厳しいと使いづらい。咄嗟に借りたいときも、届けがなければ貸せないと言われたことがあった。
- 敷地周辺は多摩川・浅川の浸水想定区域内であるため、災害時に逃げられる高い建物としてほしい。
- 公民館で無料のプログラムを提供しているが、周知の不足などによって外部の有料の教室や講座などに流れていることを危惧している。
- 保育室を整備し、常に保育士にいてほしい。
⇒外部の施設を利用しているお母さんも来やすい施設になると考えられる。

■集約化・複合化に関するご意見

□ 設備について

- 水回りを快適にしてほしい。
⇒トイレは暖かく使いやすいもの
⇒お湯が出る、お湯が使える
- エレベーターを設置してほしい。

□ 新施設への要望について

- 知名度が低いので、シンボルになるような建物であってほしい
- 全館放送が可能な設備
- 教室の中でスポットが当てられるような設備
- 発表するような場、ステージ
- 音楽系のサークル活動に支障がない防音室
- 駐車場
- 下足であがれる部屋
- 着替えができる部屋や更衣室
- 公民館まつり等、イベントができる大きい部屋
- 貴重品を保管できる場所
- 活動の際に必要な道具や楽器の置き場、サークルのロッカー等

■その他

- 日野図書館の居心地を良くしてほしい。
⇒閲覧席が狭く、中央図書館と比べると居心地が悪い。
- 複合施設の事例を見せてほしい。

■現在の利用状況

□活動時間帯（複数回答）

| | 午前 | 午後 | 夜間 |
|--------|----|----|----|
| 平日 | 1名 | 1名 | 2名 |
| 土曜日 | 4名 | 2名 | — |
| 日曜日・祝日 | 1名 | 1名 | — |

□施設までの交通手段（複数回答）

| 徒歩 | 自転車 | 車 | バス |
|----|-----|----|----|
| 4名 | 1名 | 4名 | 1名 |

■現状を踏まえた今後の利用等に関するご意見

- 公共交通の利便性が悪く、車での来訪者も多い。駐車場は必要である。
- 施設、駐車場共に無料としてほしい。
- 公民館は誰もが平等に与えられた社会教育の機会の場であるべき。
- 障がいを持った人も、車いすの人も皆が平等に利用できるようバリアフリー化は必須。現施設にはエレベーターがなく、利用を断念した方もいる。
- 保育室は必要である。親が子と離れられる貴重な時間であり、また子は親以外の方と触れあえる社会教育の場にもなっている。
- 様々なバックグラウンドを持った人と交流できる場であり、公民館での交流や活動が元気の源になっている。
- 言語教室等、外国の方の利用もある。
- 20名以上の大人数で利用できる部屋があるとよい。

■集約化・複合化に関するご意見

□全般

- 複合化は構わないが、施設内に社会教育施設として公民館機能は残すべき。
- 今まで培ってきた公民館の文化や雰囲気は残してほしい。
 - ・日野らしさは公民館が体现している
 - ・職員と一緒に作り上げている公民館（公民館まつりや大掃除等）
 - ・第3の居場所としての機能
- 他自治体等の真似をしても意味がない。日野市が培ってきた文化等を大事にすべき。
- ランニングコストと今後不足するであろう人材についても検討してほしい。

□学校との共用化について

- 学校教育が優先されることになり、利用時間が制限されるため、社会教育施設と学校教育施設の共用は難しいと考える。そのため、学校施設との共用化には反対である。
- 学校施設に外部の人が来訪することは、不審者の侵入など、安全管理の面において、親の立場からもみて不安要素がある。

□パブリックスペースについて

- 現在の公民館に設置されている談話室のようなスペースは大きくしてほしい。
- 誰もがふらっと立ち寄れる施設になると良い。
- ハイハイ期の子供を遊ばせることができるようなスペースが欲しい。
- 待ち合わせができるコーヒーが飲めるなど、軽飲食の提供などがあると良い。
- 障がい者福祉事業所の方による軽飲食の提供や販売など、就労の場としても活用できるのではないか。

■ 施設の立地・配置について

- 現在の公民館は奥まった位置にあり、場所が分かりづらいため、再編後はわかりやすい場所に立地すると良い。
- 交通の便が悪く、アクセスしにくい。駐車場は一定設けてほしい。

■ 情報発信（ソフト面）について

- 中央公民館がどこにあるか知らない、知っていたとしてもどのような活動が展開されている場所なのか知らないという人が多い。
- 「1度施設を利用してみてもらう」というはじめの一步を誘導するのが難しい。
- 今の若い世代等の多くは、日々の生活（仕事等）に追われており、公民館で行われているような活動に参加できる時間がない。
- 公民館の情報を多くの人々の目に留めてもらえるよう、様々な発信のツール、タイミングや方法等を検討する。

【ツール】

- ・ポスター
- ・広報（公民館の活動を紹介するページを設けてもらうなど）
- ・webサイト（児童館等、公民館以外のサイトを含む市HP）
- ・SNS（市LINE、Xやインスタグラム等）
- ・職員（公民館以外の職員を含む）や実際の利用者からの紹介

【タイミング】

- ・日野市への転居手続きのタイミング
- ・母子手帳交付のタイミング（産休・育休期間を活用）
- ・仕事をリタイアするタイミング

【方法】

- ・公民館まつりのさらなるアピール
- ・新選組まつりとのタイアップ
例) 新選組まつりの際に公民館を活用できるようにする
- ・PTA（日野第一小学校）とのタイアップ
- ・学生とのタイアップ
例) 歴史を専攻する学生と一緒に歴史資料展示内容を練り、SNSで発信してもらう
- ・公民館サークルとのタイアップ
例) 所属者の得意分野を活かし、利用者でHPを作って更新する

■ 複合化・多機能化による共有スペースについて

- 再編後の談話室に相当する空間は、広く確保できると良い。公民館の活動成果を発表する場（作品を展示する、音楽を流すなど）として活用していきたい。
- 現在の談話室を共用空間とすることで、様々な方が滞在する場となるため、自身の活動の幅を広げることができそう。

■ その他

- 複合施設の整備の検討とあわせて、運用ルールも定めていく必要がある。
- 市内の公民館は現在、中央公民館と高幡台分室のみであるが、複数（中学校区単位等）あるべき。
- ふれあいホールをはじめとした既存施設について、公民館的利用ができるようになると良い。

■ 施設の立地・配置について

- 奥まった立地の上、周囲に馴染む建築デザインとなっているため一目で公民館と分かりにくい。来館者増加のため、分かりやすい場所に計画してほしい。
- バス停からやや距離があるため、建物の前など分かりやすく便利な場所にバス停があるとよい。

■ 施設・設備（ハード面）について

- 談話室が小さい。
- 公民館の貸室は各団体により活発に利用されているため、今後も規模を縮小せず、維持・拡大してほしい。

■ 情報発信（ハード面・ソフト面）について

- 公民館の場所が分かりにくく、存在を知らない人もいる。視認性や認知度向上に資する施設外観上の工夫があるとよい。
- 公民館の認知度向上や、来館者増加のため、公民館として活動内容やイベント等の広報活動に注力すべき。

■ 交流・休憩機能の付加について

- かつて多世代交流の場として機能していた公民館を継承できるよう、様々な世代（特に若い世代）が訪れやすい仕組みが必要。
- 活動後に食事や休憩ができるスペースがあるとよい。近くに飲食店が無いと、カフェや喫茶店があると嬉しい。

■ 複合化・多機能化による共有スペースについて

- 談話室のような共用空間に充実した展示・発表の場があるとよい。
- 団体の活動発表の場として、音楽施設（グランドピアノや100人規模が収容可能なホール等）や展示設備（重量に耐えられるピクチャーレール、繊細な作品を展示できるガラスケース等）があるとよい。
- 特定の用事が無い日であっても公民館へ気軽に足を運べるよう、展示や発表スペースがあるとよい。

■ その他

- 利用者にとっては同じ貸室であっても公民館と福祉センターは管轄が異なり、予約方法も異なるため使いづらい。施設再編後には、施設の区分無しに同じシステムで予約できるとよい。

■ 施設の立地・配置について

- 皆がわかりやすい場所に、目立つ建物を建設してほしい。
⇒表通りに面している日野図書館は皆知る施設となっているが、中央公民館は人目に付きにくく分かりづらい場所にある。
- 公共交通の利便性が悪く、交通の便が改善されると日野本町地区だけでなく、他の地区からも使いやすい施設になる。
- そもそも公民館施設があることを知らない人が多い。社会教育施設としてもPR・発信が市報以外に必要。
- 公民館を使ってみると、非常に使いやすい施設であることがわかる。使ってもらえるよう、場所と施設の発信が必要。

■ 施設・設備（ハード面）について

- 幼児から高齢者、障害のある方まで市民皆が平等に使える施設であるべき。そのためのバリアフリー化やエレベーター等の設置は不可欠である。
- 現中央公民館は昭和41年に建設されたものである。当時はモダンな建物であったが、現状を見るに施設の更新は必要である。
- 時代のニーズに沿った施設・設備の更新が必要である。
- 施設・設備の維持管理においては、定期的な点検・更新が必要とされる。
- 中央公民館に陶芸窯（ガス窯）があることが特徴のひとつでもある。安全性を確保した上で、動線を考慮して諸室を配置することで、誰もが使いやすい施設になるのではないかと。

■ サービス（ソフト面）について

- 講座の充実により、興味を持っていただける方を増やしたい。
- 夏休みや冬休み期間中は、子ども向け・学生向け講座が開催され、学生や子どもたちの利用も多くみられる。通年で子どもたちを受け入れられるような講座を設けてほしい。
- 既存の活動サークルで、子どもや学生を対象とした体験講座やWSのような機会を設け、交流機会を増やして公民館活動の活性化に繋げたい。（既に実施している団体もあり）

■ 複合化・多機能化による共有スペースについて

- 既存の談話室のようなスペースが充実することにより、施設自体の魅力が増す。
- 公民館利用を目的としていない方も立寄り、その場で過ごすことで、公民館活動に興味を持っていただけるような仕掛けがあると良い。（展示機能や活動団体の紹介スペースなど）
- サークル活動の前後に、一息ついて交流ができるような飲食機能があると良い。（有料での提供で問題ない）
- 市内商品の販売や市内の障害福祉サービス事業者による物販によって、市内でお金の回る仕組みや障害者の就労機会を提供して、多くの方に足を運んでもらえるような場にできると良い。

■ その他

- 日野市の財政事情は承知している。とは言え市民の為の施設として機能してほしい。施設が新しくなっても使いにくい施設、使われない施設では元も子もない。市民のニーズを拾ってほしい。